

国際課活動レポート

◆濱口梧陵国際賞記念講演会（11月2日）

11月2日、「濱口梧陵国際賞」の受賞者による講演会を和歌山大学において開催しました。この賞は、150年ほど前に自らの資産を犠牲にして村人の命を津波から守った濱口梧陵の功績を称え、広く世に知って頂くため、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた方に与えられるものです。東北大学名誉教授・日本大学教授の首藤伸夫氏、前アメリカ海洋大気庁太平洋海洋環境研究所長エディ・バーナード氏、チリ共和国内務省国家緊急対策室(ONEMI)の代表が講演し、それぞれの取り組みの紹介や和歌山の防災に対する評価・提案を行いました。集まった約200人の聴講者の真剣な表情が印象的でした。



◆「世界津波の日&わかやま魅力発信セミナー」及び「外務大臣との共催レセプション」（11月10日）

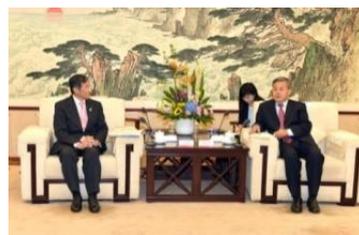
和歌山県の観光、食、伝統工芸、先進技術などの様々な魅力を世界に向け情報発信するため、外務省との連携により、「世界津波の日&わかやま魅力発信セミナー」及び「外務大臣との共催レセプション」を東京にある外務省飯倉公館において開催しました。当日は、各国の駐日外交団、海外メディア関係者や国会議員などあわせて約300名が出席しました。第1部のセミナーでは、仁坂知事が「世界の中で輝く和歌山」と題した講演で和歌山の様々な魅力を語るとともに、世界津波の日設立



のきっかけとなった稲むらの火の逸話や和歌山の防災対策を紹介しました。第2部のレセプションでは、和歌山の食材を使った料理を振る舞うとともに、様々なブースで和歌山の魅力を体験していただき、好評を得ました。県では今後も引き続き、本県の魅力を世界に向け積極的に発信し、海外からの誘客の促進など様々な交流につなげていきます。

◆仁坂知事、マレーシア・中国を訪問（11月15日～18日）

マレーシアでは県産品の販路拡大と観光客誘致に関するトップセールスを、中国北京では観光客誘致を目的に、中国国家旅游局長と会談を行った後、旅行会社にトップセールスを行いました。友好提携省県である山東省では省長と会談し、今後のさらなる交流の深化について意見交換を行いました。



◆世界津波の日高校生スタディツアー（11月23～24日）

11月25～26日に高知県黒潮町で行われた「世界津波の日」高校生サミットに先立ち、世界16カ国の高校生からなる「若き津波防災大使」127人がスタディツアーとして和歌山県を訪れました。23日には和歌山県防災センターにて県の津波対策を学んだあと、県内高校生の案内で和歌山城を見学しました。また、仁坂知事主催の歓迎レセプションが行われました。24日には耐久高校を訪問し、同校学生とともに防災スクールを体験し、「世界津波の日」に縁のある「稲むらの火の館」などを視察しました。スタディツアーを通じて、津波防災の重要性や和歌山県の対策を世界の若者たちに知っていただくとともに、県内の高校生たちにとっても海外の学生と交流する貴重な機会となりました。



異文化体験記

◎和歌山県職員による「異文化体験記」です。

大家好。皆さんこんにちは、中国・山東省済南市に派遣されている阪口と申します。済南市には今年9月から派遣され、現在は済南市内にある山東師範大学の国際交流学院にて中国語を勉強しています。

山東省は茨城県や石川県とほぼ同緯度に位置し、日本の面積の約4分の1の大きさがあります。人口は約9,800万人で中国国内において2番目に人口の多い省です*。また、山東省には二つの世界遺産があります。一つは、かつて即位した72人の皇帝が封禅の儀式を行った地であり、現在も多くの中国人が訪れる泰安市にある「泰山」、もう一つが、日本でも有名な孔子の出身地、曲阜市にある「曲阜の孔廟、孔林、孔府」です。

さて、私が現在滞在している済南市は、そんな山東省の省都であり、約700万人の人口を擁する大きな街です*。済南市には関西国際空港から毎日直行便が飛んでおり、約2時間半で来ることができます。済南は泉の街として有名で市街地だけで大小合わせて100余りの泉があり、見所の多いところです。また、中国8大料理の一つに数えられる山東料理も有名です。

私は現在、済南市にある山東師範大学で中国語の勉強をしています。私のクラスメイトはアメリカ、韓国、ケニアなどの8カ国からの生徒で構成されており非常に国際色豊かな環境にいます。授業中でも色々な国の文化を垣間見ることができ、中国語を学びながらそれらの国の人達からも刺激を受けています。

また、学校の図書館には「済南中日交流之窗」という日本のコーナーが設けられており、そこに和歌山県を紹介するスペースもあります。そこでは、2週間に一度のペースで学生達と交流する場があり、毎回楽しく出席しています。



大明湖



学校内の毛沢東像



交流会の集合写真

*「山東省概況」JETRO 青島事務所 2016年3月より
〈阪口 昂（平成28年9月より山東省山東師範大学で研修中）〉

英語コラム

◎英語担当国際交流員が英語にまつわる話題を紹介するコーナーです。

◆ Application の今と昔 ◆

皆さんは、「application」という単語を聞いて何を連想しますか？「申し込み」、「応用」などいろいろな意味がある単語ですが、パソコンなどのソフトウェアを指す「アプリケーション」が頭に浮かぶ人も多いと思います。ところが、20数年前、パソコンが世の中に普及しはじめ、この「アプリケーション」というカタカナ語が日本語として使われるようになった当初は、英単語「application」そのものには、このようなソフトウェアの意味はありませんでした。その意味を示すには、「application software」、「application program」のようにソフトウェアを意味する語をつける必要がありました。日本語でも「アプリケーションソフト」という表現があるのと同じです。

しかし、こうした使われ方が普及するにつれて、現在では「application」単独でもソフトウェアの意味を表すようになりました。さらに、日本語で「アプリケーション」が「アプリ」と略されるのと同じように、スマートフォン向けなど小規模なアプリケーションには、英語でも「app」という略語がよく使われています。iPhoneのアプリ配信サービス「App Store」は、その代表例ですね。

このように、英語も日本語も、生きている言葉は、時代とともに意味が広がったり変わったりします。今の「application」も、何十年か後にはまた違った意味で使われているかもしれない、と想像すると興味深いかもしれませんね。



ゲストコラム

◎和歌山県内在住の外国の方や、和歌山県を訪れた外国の方に和歌山や出身地についてご紹介いただくコーナーです。

名前：ジャスミン・オデナット

出身地：アメリカ合衆国メリーランド州



職業：海南市の外国語指導助手です。英語を教えることはとても楽しいです。生徒たちはとても授業に熱心で、興味を持ってきてくれるので、とてもうれしいです。彼らの英語学習の一助となるよう、楽しくやりがいのある授業を心掛けています。授業がうまく終わった後の子供たちの満足気な表情を見るのが大好きです。

和歌山へ来た理由：

和歌山県については全く知らなかったのですが、親友が和歌山を薦めてくれました。美しい山々や景色について教えてくれたので、和歌山への配属を希望しました。そして、2年目を迎えた今も、山々を見るたびに息をのむほどの美しさを感じています。特に雨が降った時…山を覆う霧を眺めずにはいられません。和歌山に来られてとても幸せです。

和歌山の魅力・出身地との共通点や違い：

私が育ったボルチモア市は和歌山とは全く違います。都会で、山はありません。学校で自己紹介をするときには、小さい頃、家の窓から毎晩眺めた美しい夜景を紹介しています。ボルチモアはとても歴史ある街で、クリエイティブで才能ある人たちが集まる所です。エドガー・アラン・ポー、ベープ・ルース、マイケル・フェルプスなどが代表的です。道はいつも混んでいますし、さまざまな店があります。また、街中にたくさんの教会があります。私の祖父母が通う教会は90年以上の歴史があり、コミュニティで大きな役割を果たしています。これは日本と共通していることだと思います。街の皆がお互いを知っていますし、何十年も家族で経営している小さな店がたくさんあります。毎年、様々な祭やイベントがあり、多くの人が集まります。しかし、食べ物は全く違い、日本の食べ物のほうがずっと良いです！アメリカ人はあまりお米を食べませんが、私はカリブ系のハーフなので、よくお米を食べていました。ですので、日本で毎日ごはんを食べられることはうれしいです。家族は恋しいですが・・・



私の育った街には危険な所もあります。犯罪や暴力、アフリカ系アメリカ人やその他マイノリティーに対する人種差別などがあるという点では、街をあまり好きにはなれませんでした。今、アメリカの警察による暴力事件が深刻な問題として取り上げられていますが、これは最近始まったことではなく、インターネットや携帯電話のカメラの普及により、暴力の現場の記録や世界に向けた発信をすることができるようになっただけなのです。恐ろしい話になりましたが、私は怖さよりも悲しさを感じます。ですので、日本はとても安全で、うれしいです。これも日本とアメリカの違いです。日本はとても美しいだけでなく、私の育った街よりもずっと安全なのです。その違いは私にとっては大きなカルチャーショックのひとつでしたが、安全であることをとてもありがたく思います。

いつか家族を呼び、和歌山の美しい山を見てもらいたいです。私がこんな場所で暮らしているなんてきっと信じられないと思います。宮崎駿監督の映画の中にいるような気がしています。

メッセージ：

和歌山のみなさん、こんなに美しい景色をぜひもっと利用してください。みなさんは私を含めた多くの人が幻想的だと思う素敵な場所に住んでいるのです。そして、ぜひ世界を旅してください。和歌山とは全く違う場所を知ること、きっとみなさんにとって良い体験になると思います。